

相鉄瓦版



第 262 号

2019.9

Sotetsu
Kawaraban

「旭区誕生50周年記念」企画

特集

〔横浜市旭区編〕

ご近所
お国自慢

相鉄線沿線



特集 | 相鉄線沿線 ご近所お国自慢 [横浜市旭区編]

- 4 旭区の概要
- 6 旭区の歴史
- 8 旭区をめぐる
5つの物語

連載

- 36 ぶらり寄り道!
 - あさひの逸品
 - 相鉄線沿線お出掛けスポットめぐり
- 40 小松成美のカラフル通信
- 42 相鉄沿線
名店プロジェクト
- 44 そうてつ
インフォメーション
 - ニュース
 - 相直をめぐる物語
- 50 相鉄線沿線
少年少女 熱血スポーツ
- 52 こども自然公園
いきもの便り
- 53 沿線トピックス
 - ズーラシア
 - イベント
- 55 ヨコハマやさいレシピ

●次号(10月1日発行予定)は
「瀬谷区」について特集します。

表紙イラスト/ネモト円筆

本誌で掲載された情報は一部を除き2019年8月13日現在のものです。情報内容に変更される場合がございますので、ご了承ください。本誌に記載の価格は消費税込みです。ただし、一部この限りではありません。

個人情報の取り扱いについて

①お客様の個人情報は、抽選および賞品発送、相鉄瓦版の制作に関する使用目的以外に使用することはありません。②お客様の個人情報は厳正に管理し、個人情報保護法に定める個人情報取扱事業者として適正に取り扱います。③お客様の個人情報の取り扱いについては下記URLをご参照ください。
https://www.sotetsu.co.jp/personal_data/group_policy.html



「旭区誕生50周年記念」企画

特集



【横浜市旭区編】

相鉄線沿線 お国自慢

相鉄線が走っている横浜市西区、保土ヶ谷区、旭区、瀬谷区、泉区、大和市、座間市、海老名市、藤沢市。そこにはどんな歴史や名所があり、どのような人々が暮らしているのでしょうか。

今回は、鶴ヶ峰駅、二俣川駅、希望ヶ丘駅、南万騎が原駅のお膝元で、2019年10月1日に誕生50周年を迎える横浜市旭区の方々に「お国自慢」をしていただきます。

旭区の概要

約11万世帯、約25万人が暮らす旭区。
そんな旭区の概要を紹介します。



旭区は保土ヶ谷区、戸塚区、泉区、瀬谷区、緑区に隣接し、

区の東西に相鉄本線と国道16号線（八王子街道）が走っています。旭区の面積は32・78平方キロメートル。横浜市全体（約435平方キロメートル）の約7・5%を占め、18区中3番目の広さとなっています。

旭区マスコット
キャラクター

「あさひくん」

- 〈誕生日〉 2008年10月26日
- 〈特技〉 区民の皆さんを笑顔にすること、空を飛ぶこと
- 〈性格〉 太陽のように明るく元気
- 〈好きなもの〉 綿菓子





\ Check! /

旭区誕生50周年記念事業

●旭区誕生50周年記念「あさひくん」絵本

旭区マスコットキャラクター「あさひくん」の絵本が完成。9月11日（水）から旭区のホームページで予約を開始します。10月20日（日）に鶴ヶ峰公園などで開催する「旭ふれあい区民まつり」でも販売されます。



●旭区誕生50周年記念誌

旭区の自然や史跡などを美しい写真とともに紹介する旭区誕生50周年記念誌が10月21日（月）から区役所地下1階の売店で販売開始。旭区のホームページでも内容を公開します。

旭区誕生50周年記念事業の詳細は、旭区のホームページをご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/asahi/>

協力／旭区役所 参考資料／「データでみる あさひ 2019」



旭区の歴史

旭区が誕生して50年。
同区域の明治時代以降の歴史を紹介します。

1871年

廃藩置県により、現在の区域は神奈川県都筑郡（その一地域）になる

1889年

市町村制施行に伴い、上川井村、下川井村、川井村、上白根村、下白根村、今宿村が都岡村に、市野沢村、小高村、三反田村、今井村、二俣川村が二俣川村になる

1926年

神中鉄道（現・相鉄線）が厚木〜二俣川間で営業を開始し、二俣川駅が開業

1930年

鶴ヶ峰駅が開業

1933年

二俣下川駅が開業（後に休止）

1939年

都築郡都岡村と二俣川村が、横浜市保土ヶ谷区に編入

1948年

希望ヶ丘駅が開業

1949年

保土ヶ谷区役所鶴ヶ峰出張所を開設

1962年

保土ヶ谷区役所希望ヶ丘出張所を開設

1969年

横浜市の行政区再編成に伴い、保土ヶ谷区から分区して旭区が誕生（10月1日）

1973年

横浜市初の地区センターとなる「希望ヶ丘地区センター」が開館

1974年

1976年

1983年

1989年

1999年

2001年

2007年

2008年

2018年

2019年



八王子街道（国道16号線）のバイパスである保土ヶ谷バイパスが開通

二俣川くいずみ野間で相鉄くいずみ野線が開業し、南万騎が原駅が誕生

旭区のシンボルマークを制定

区の花を「あさがお」に、区の昆虫を「ホタル」に制定

よこはま動物園「ズーラシア」開園

区の木を「どうだんつつじ」に制定

環状2号線が全面開通

鶴ヶ峰駅南口地区再開発事業により

「ココロット鶴ヶ峰」竣工

旭区のマスコットキャラクター

「あさひくん」誕生

二俣川駅南口地区再開発事業により

「コプレニ俣川」などがオープン

旭区誕生50周年（10月1日）



1964年ごろの二俣川駅

参考資料／「データでみるあさひ 2019」

Enjoy Asahi!



特集
相鉄線沿線
ご近所
お国自慢



【横浜市旭区編】

旭区をめぐる 5つの物語

歴史や農業、イベントなど5つの物語から、
旭区の魅力や見どころを紹介します。



やえがしあきら
八重樫東

プロボクサー



「八重樫家のお父さん」でいられる場所

結婚を機に旭区に移り住み、3度の世界王座を獲得したプロボクサーの八重樫東さん。そんな八重樫さんに、地元の人たちや旭区への思い、ボクシングに対する考えなどを伺いました。

僕は高校時代にボクシングを始め、大学3年生のときにプロになる決断をします。そして、翌年に大橋ボクシングジムに入門しました。当時はジムが横浜中央卸売市場の近くにあったため、僕は東京都内にあった大学の寮を出て、栄町（神奈川区）のアパートで暮らし始めました。その後、ジムが平沼橋（西区）に移り、僕も和田町（保土ケ谷区）に引っ越しました。そして、

2010年に結婚し、万騎が原（旭区）に越してきました。

二俣川駅の南口からこども自然公園に続く一本道を進んでいくと、途中で商店街があります。僕ら家族が住み始めたのは、その中の1軒です。隣がお茶屋さんで、ご主人の佐々木明男さんにはとてもお世話になりました。僕や妻が忙しいときには、よく子どもを預かっていただきました。子どもたちも佐々木さんのことを「おじいちゃん」と呼び、厚かましくも自宅と同じようにお茶屋さんに入りますようになりました。僕も妻も岩手県出身で、旭区に親類はいません。そうした中、何かと親身になってくださる佐々木さんをはじめ近所の方々の存在はとてもありがたかったです。

佐々木さんは長らく万騎が原連合自治会会長などを務めた、とても顔の広い方です。僕も、佐々木さんの紹介でさまざまな方と知り合うことができました。そんな佐々木さんの薦めもあって、2013年には旭区の一丁目区長を、2014年には旭警察署の一日警察署長を務めました。また、2016年には旭区長賞を授与されました。そうしたことに対しておこがましい気持ちも

ありましたが、地元の方々に認められたようで誇らしかったです。

僕は2009年6月に日本ミニマム級王座を獲得し、3度防衛します。そして、2011年10月にWBA世界ミニマム級王座に挑戦し、初めて世界王座を獲得しました。結婚して旭区に移り住んだのは、日本王座を防衛している時期に当たります。戦績だけを見ると、順調にキャリアを重ねているように思えるかもしれませんが、でも、当時はよくケガをしていて、ボクシングに對するモチベーションも少し下がっていました。実際、ジムの大橋秀行会長から、結婚を機に引退を勧められたこともあります。しかし、家族や近所の方々の支えとファンの声援のおかげで、ボクシングを続けることができました。2013年4月にはWBC世界フライ級王座に挑戦し、2度目の世界王座に就くことができました。実はこの時期にも再び引退の文字が頭をよぎるようになり、妻とも岩手に帰ろうかと話すようになっていました。プロデビュー後に勝利を重ね、わずか7戦目で世界王座に挑戦できました。でも、その試合で負けただけでなく、大きなケガを負ってしまいました。それ以降もボク

シングを続けることができたのは、「八重樫の試合が見たい」といつてくださる方々がいたからです。ただし、そうした声があっても、致命的なケガを負ってしまえば選手生命が絶たれてしまいます。2013年2月で30歳になったこともあり、「潮時かもしれない」と考えるようになっていたのです。

普段、自宅でボクシングの話をすることはありません。よほどのケガがない限りは試合翌日も僕が朝食をつくり、いつもと変わらない会話をし、子どもたちを学校に送り出します。でも、2度目の世界王座に挑戦する前は、ややナーバスになっていました。対戦相手の五十嵐俊幸選手とはアマチュア時代に4度戦い、いずれも負けています。そうしたことも影響したのか、あるとき、長男に向かって試合への不安を口にしてしまいました。すると、まだ小学校低学年だった息子が「勝てると思ったら勝てる」といったのです。生意気なことをいうなと思いつつ、ふっと気持ちになりました。そんな息子の励ましもあって2度目の世界王座に就くことができ、さらに2015年12月にはIBF世界ライトフライ級王座を獲得できました。

僕がプロボクサーとしてのスイッチを入れるのは、ジムに向かうために相鉄線に乗り込んでからです。電車内でスマートフォンを利用して海外の選手の試合動画などを見ながら、気持ちを高めます。現在、大橋ボクシングジムは鶴屋町（神奈川区）にあり、相鉄線の横浜駅から歩いて10分ほどです。僕は買い物などで寄り道をするのは一切ありません。真つすぐジムに向かい、そのまま練習に入ります。練習後も寄り道せずに相鉄線に乗り、最寄り駅で降りると「八重樫家のお父さん」に戻ります。一方、近所の方々もプロボクサーだからと特別視することはありません。

わが家は旭区内で2度引っ越しましたが、いずれも最初に住んだ家からそれほど遠くない場所でした。幾つか理由がありますが、何より長男が転校することになったらかわいそうだと思っただからです。長男が小学校を卒業するまでの6年間、僕は旗当番を務めました。生徒の登下校時に通学路で安全を見守る保護者の役割です。家庭での朝食づくり同様、よほどのケガがない限り試合翌日も旗当番に立ちました。目立つケガがあるときは心配されること

もありましたが、大抵は生徒も保護者も普段通りにあいさつして通り過ぎました。僕は、プロボクサーだから、世界チャンピオンだからと、特別扱われることが好きではありません。それよりも、素の自分、「八重樫家のお父さん」として接してくれる方が居心地良く過ごせます。ですから、等身大の自分を受け入れてくださった地元の方々にとっても感謝しています。

現在、30代後半に差し掛かり、プロボクサーとして先が長くないことを自覚しています。日々の練習に真摯しんしに取り組んでいるだけで、特に明確なゴールは想定していません。ただ、これまで支えてくださった旭区の皆さんに恥じず、自分でも悔いのない最後を迎えられたらと思っています。(談)

やえがしあきら ● 1983年、岩手県生まれ。高校時代にボクシングを始め、拓殖大学を経て2005年3月に大橋ボクシングジムからプロデビュー。2009年6月、日本ミニマム級王座を獲得。2011年10月にWBA世界ミニマム級王座を、2013年4月にWBC世界フライ級王座を、2015年12月にIBF世界ライトフライ級王座を獲得。最新情報は大橋ボクシングジムのホームページを (<http://www.ohashi-gym.com/>)。

よこはま動物園 ズーラシア



公益財団法人
横浜市緑の協会
よこはま動物園
ズーラシア 園長

村田浩一

自然への興味を育む驚きや発見

1999年4月にオープンし、今年で開園20周年を迎えた「よこはま動物園ズーラシア」(以下、ズーラシア)。園内は世界の気候帯・地域別に8つのゾーンで構成され、約100種720点の動物が飼育展示されています。ズーラシアの見どころなどについて、園長の村田浩一さんに語っていただきました。

私はよくズーラシアの園内を巡回しています。来園者の様子を目にして、もったいないなと感じることがあります。30秒から1分足らずで次の展示場に移動する来園者が少なくないからです。できることなら5分以上、欲をいえば30分、1時間と動物をじっくり観察してほしいと思います。時間をかけ

て観察していると、同じ動物を何度も見ている私でさえ心を奪われるような表情や動作を目にすることがあります。今日も、ユーラシアアカワウソのエサを食べるしぐさに「こんな動きをするんだ!」と驚かされたばかりです。ぜひ来園者にも、ゆとりを持って園内を巡ってほしいと思っています。

ズーラシアの特徴の一つに、豊富な緑があることが挙げられます。展示場の中にも園路にも、多種多様な植物が植えられています。20年前の開園間もないころには、来園者から「緑に遮られて動物が見えにくい」という苦情が寄せられました。確かに、木々が視界を遮る場所もあるし、植物の陰に身を隠してしまう動物もいます。それでも、目が慣れれば茂みの中の動物が見えるし、木々の間から動物が顔を出したりします。ですから、じっくり観察してほしいのです。そして、緑が豊富であることには明確な理由があります。

かつての動物園では、武骨なおりの中で動物を展示、飼育していました。でも、単に飼育するだけでなく、動物たちの幸せにも配慮しようという考えが1980年代以降に欧米で広まります。ズーラシアは、そうした潮流の中

で誕生しました。そこで当園では、日本の山里や亜寒帯の森、アマゾンの密林など、動物たちが野生で暮らしている環境を再現し、それぞれの地域の植物も数多く植えられています。動物たちへの配慮は展示場だけに限らず、彼らが寝起きする獣舎の床におがくずを敷くなど、さまざまな工夫を凝らしています。動物たちの幸せを追求することは、来園者の喜びにもつながりません。緑が多いことで見えづらい展示場もありますが、動物が生き生きと動き回る様子や、のんびりくつろいでいる姿などを目にすることもできるのです。

例えば「アフリカのサバンナ」ゾーンでは、チーター、エランド、キリン、グラントシマウマを一緒に展示しています。よく受ける質問が「肉食動物と草食動物を同じ場所で展示して大丈夫ですか」というものです。結論からいうと、チーターは自分よりも大きな動物を襲いません。むしろ、大きなキリンやシマウマを恐れています。でも、ただ逃げ回るだけでなく、草食動物にちよつかいを出すような動作をすることもあります。それでいて、チーターは自分の安全圏の中では穏やかに眠っています。この「アフリカのサバンナ」



だけでも、多様な動物の表情や動作を観察でき、興味が尽きません。

また、ズーラシアには日本最大級の繁殖センターがあります。世界各国の関係機関とも連携しながら希少な種の繁殖や保全に取り組んでおり、動物に
関する幅広い研究を行っています。繁殖センターは原則的に非公開施設ですが、研究成果はさまざまな形で飼育や展示に生かされていますし、これからは今まで以上に積極的に情報発信を行っていきたいと考えています。ズーラシアが横浜市や旭区の皆さんにとつて、憩いの場であることは間違いありません。ただ、楽しい時間を過ごせるだけでなく、ここに足を運ぶことで自然に触れ、環境の大切さに思いをはせる足掛かりの場にもなれたらと思っています。

もつとも、来園者の皆さんは眉間にしわを寄せて難しく考える必要はありません。繰り返し返しますが、ズーラシアを楽しむコツは、じっくりと動物たちを観察することです。当園の展示場の多くは視界を遮るような柵がないので、写真撮影にも最適です。私はほぼ毎日3時間ほどかけて園内を巡り、1日1千枚ほど写真を撮っています。写真はSNSにアップしているのですが、

うれしいことにそれらを見て遠く北海道や九州からカメラを片手にズーラシアに足を運んでくださる方がいます。

自分の目で、あるいはファインダー越しにじっと動物を観察していると、多くの発見や驚きがあり、いくつも「！」や「？」が頭に浮かびます。初めは「かわいい」「面白い」という感想でも、やがて「なぜ」「どうして」という疑問を抱きます。心や頭に浮かんだことが、自然への興味、環境への関心へとつながっていくと思いますが、まずは動物たちを見て心の感じるままに楽しんでください。動物園の楽しみ方の一つではないので、季節の植物に目を向けたり、ベンチでぼーっとしても構いません。のんびり園内を1周すれば、きっと自分なりのズーラシアの楽しみ方が見つかるはずです。(談)

●よこはま動物園ズーラシア

TEL・045(6566)1000

<http://www.hama-nidorinokiyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>

※開園時間などの詳細は53ページを参照ください。

●旭区誕生50周年記念事業

旭ズーラシア駅伝

2020年1月25日(土)、「旭ズーラシア駅伝」が行われます。詳しくは、旭区のホームページをご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/asahi/>

鎌倉武将 畠山重忠



旭ガイド
ボランティアの会
会長

白井昭夫

歴史を知り、新たに する地元への思い

旭区内を中心に歴史的名所などの案内を行っている「旭ガイドボランティアの会」。その会長である白井昭夫さんに、旭区と縁の深い鎌倉時代の武将、畠山重忠についてレクチャーいただきました。

畠山重忠は1164年、現在の埼玉県深谷市に誕生します。当時は平家全盛の時代で、畠山家も平家方でした。ただし、1180年に源頼朝が平家を倒すために挙兵すると、畠山重忠は頼朝に付き従うことを決意します。そして、木曾義仲を打ち破った宇治川の戦い、平家軍に大勝した一ノ谷の戦いで、源義経などとともに畠山重忠は武勲を立てました。1192年には源頼朝が

征夷大將軍に任せられ、鎌倉に幕府を開きます。それに先立って源頼朝が京都に向かった際には、隊列の先頭を畠山重忠が務めました。それほど源頼朝から厚い信頼を得ていたのだと思います。

1199年、源頼朝がこの世を去りました。すると、幕府内では権力を巡って派閥争いが起きます。その余波で、畠山重忠は謀反を画策しているのではないかとあらぬ疑いをかけられてしまいます。1205年、「鎌倉に異変あり」という虚偽の命令を受けて呼びつけられ、畠山重忠は百数十騎を率いて鎌倉へ向かいます。現在の鶴ヶ峰付近に着くと、そこには数万騎の大軍が待ち構えていました。退却するように進言する家臣もいましたが、畠山重忠は命を惜しんで疑いをかけられたままにいるよりも潔く戦うことを宣言。激しい戦いの末、42年の生涯を閉じました――。

現在、旭区には「万騎が原」という地名があります。もともとは「牧ヶ原」という表記だったものが、畠山重忠を迎え撃った数万騎の軍勢にちなみ「万騎が原」と記すようになったといわれています。また、終焉しゆうえんの地である鶴ヶ

峰周辺には、畠山重忠に関する史跡がたくさん残っています。鎌倉時代に編さんされた「吾妻鏡」という歴史書などによると、畠山重忠は文武両道な地でいき、独立心が旺盛で、鎌倉武士の鏡のような人物だったことが分かります。ただし、歴史書でそれほど多くのページが割かれているわけではない、実際のところはどうかだったのか分からないことも多々あります。一方で、旭区内に古くから残る畠山重忠の伝承の中には、明らかに史実と異なるものもあります。でも、だからといって、それらをないがしろにしているとは思いません。この地に暮らす人々が畠山重忠にひとかたならぬ思いを抱き、連綿と受け継いできたものだからです。

何より私が歴史に魅力を感じるのが、「本当のと



畠山重忠の首がまつられているといわれる「首塚」（写真左）と、没後750年を記念して1955年に建立された「畠山重忠公碑」（写真右）

ころはどうだったのだろうか」と思いをはせることです。畠山重忠が生きた時代には、鎌倉と各地とを結ぶ「鎌倉道」が幾つも整備されていました。現在の東京から瀬谷を通って鎌倉へ向かう道を「上の道」、鶴ヶ峰を通る道を「中の道」といいます。本来なら畠山重忠は上の道を通るべきなのに、中の道を通って鎌倉に向かいます。それは、中の道の近くに住む親類を頼ったためだといわれています。では、畠山重忠を迎え撃ったためだといわれています。通過することを予測できたのか。どうして鶴ヶ峰が合戦の地に選ばれたのか。当時の鶴ヶ峰周辺の人々の暮らしぶりはどうだったのか……。歴史書に当たることでは分かることが多々ありますが、同時にさまざまな疑問が浮かびます。そして、「どうなん



畠山重忠の内室（妻）がまつられていると伝えられる「駕籠（かご）塚」（写真左）と、重忠をはじめ百数十騎が眠るといわれる塚がある「薬王寺」（写真右）

だろう」と推測し、空想を巡らせることに得もいわれぬ面白さを感じます。

私が「旭ガイドボランティアの会」に入ったのは7年前です。それ以前は特に歴史に詳しくなかったわけではありません。でも、それまで素通りしていた近所のお地蔵さんやお稲荷さんなどに目を向け、歴史的背景を知ると、がぜん興味をかき立てられました。畠山重忠についても同じで、彼が生きた約800年前の時代を学び、同時に歴史書では分からない点に思いをはせることで、自分が長く暮らしている町の見え方も随分と変わってきました。旭区内には、畠山重忠に関するもの以外にもさまざまな史跡や伝承が残されています。それらに目を向けることで、多くの人が地元への思いを新たにしてくれたらうれしく思います。(談)

●旭ガイドボランティアの会

TEL・060(9666)1211

<https://asahi-sanpo.jimdo.com/>

※9月21日(土)に「畠山重忠公を偲び終焉の地を巡る」ガイドを開催予定。詳しくは、直接お問い合わせください。

旭区をめぐる
5つの物語

4

横浜旭ジャズまつり



旭ジャズまつり
実行委員会
副事務局長

中込祐一

最高のロケーションと多くの人の支え

今年7月には30回目を開催し、旭区の夏の風物詩としてすっかり定着した「横浜旭ジャズまつり」。この人気イベントの特徴などについて、旭ジャズまつり実行委員会の副事務局長である中込祐一さんにお話を伺いました。

旭ジャズまつりの初開催は1990年。旭区制20周年の記念イベントとして、当時、旭区役所にいらした方が地域の住民や地元企業などに呼び掛け、実行委員会が組織されました。そこで大きな役割を担ったのが、事務局長を務めた遊佐^{ゆさ}正孝^{まさたか}さんです。遊佐さんは地元企業の社長であり、野毛（西区）の老舗ジャズ喫茶「ちぐさ」が一度閉店し、再開する際にも尽力されました。

ジャズの世界で顔が広く、名だたるミュージシャンとも交流を持たれていました。遊佐さんがいたことで、誕生間もないイベントに著名なミュージシャンをお招きすることができたんです。また、現在も会場の設営で中心的役割を担ってくれている地元建設会社の方々の協力などもあって、第1回目は成功を収めることができました。実は、旭ジャズまつりは1回限りの開催予定でした。ある実行委員が打ち上げの席で「10年続けましょう！」と氣勢を上げた際も、他のメンバーは黙ったままでした。イベントに限らず、何事もゼロから立ち上げるのは苦勞が多いので無理ありません。それでも来場された方々の反響が大きく、翌年以降も開催されることになりました。

この旭ジャズまつりには、幾つかの特徴があります。まず、野外音楽イベントとしては破格の入場料である前売り3千円は、第10回から値上げしていません。若い世代にもジャズに親しんでほしいとの思いから学割も導入していますし、保護者同伴であれば中学生以下は無料です。2番目の特徴が、デイキシーランドジャズで始まってビッグバンドで締めるというジャズの歴史を

凝縮したプログラム構成になっていることです。特に詳しくなくても、5つほどのバンドの演奏を聞くと自然とジャズの多様性を楽しめる構成になっています。そして、一番の特徴が、こども自然公園の緑に囲まれた野球場という最高のロケーションで開催されるということです。ジャズに耳を傾けている人はもちろん、日の高いうちからお酒を楽しんでいる人もいるし、元気に会場内を駆け回っているお子さんもいます。夏空の下、思い思いに楽しい時間を過ごされています。なお、実行委員会では毎年4月にアマチュアステージの出場者を決定する公開オーディションを旭公会堂（旭区役所4階）で開催しています。入場無料で、10組のバンドを聞くことができます。この公開オーディションをチェツ



昨年の様子（左：日野皓正クインテット、右：園田憲一とデキシーキングス）
写真提供／旭ジャズまつり実行委員会

クしておくとして7月の本番がより楽しめると思うので、ぜひ足を運んでください。

私が旭ジャズまつりの実行委員会に加入したのは2002年です。主に広報などの業務を担当していますが、2005年からはアマチュアステージで、2011年からはプロステージで司会を担当しています。何よりもうれしいのが、ステージ上から「今年これで終了いたします」と最後にあいさつをすると、多くのお客さまが「今年もありがとう」「お疲れさま」とねぎらいの言葉を掛けてくださることです。私も含め、仕事をしながら時間をやりくりして実行委員を続けているメンバーが何人もいます。旭ジャズまつりは年1回の開催ですが、毎年成功に導くためには多くの時間や労力が必要で



歴代のポスター（左から第1回、第10回、第20回、第30回）
写真提供／旭ジャズまつり実行委員会

す。それでも、お客さまにねぎらいの言葉を掛けていただくと、それまでの苦労が雲散霧消して「来年も頑張ろう」と思えるんです。

旭区民の方々を中心に多くの人に支えられて、旭ジャズまつりは30年にわたって続けることができました。おかげさまで、こども自然公園で行われる夏のイベントとして定着したという自負もあります。ただ、今でも「旭ジャズまつりって？」と反応される方も少なくありません。今年の11月30日からは、相鉄線が東京都心に乗り入れます。今後は、横浜市内や神奈川県内はもとより、東京からも多くの方が足を運んでくださるような認知度の高いイベントに成長できたらと思っています。第1回目が終わった際の「10年続けますよう！」という言葉には現実味がありませんでした。でも、30年続いた今なら「50年、100年と続けましょう！」という呼び掛けに賛同してくれる人もたくさんいるはず、と信じています。(談)

●旭ジャズまつり実行委員会 TEL. 045(363)7410
<http://www.asahijazz.net>

※実行委員を随時募集しています。詳しくは、直接お問い合わせください。

旭区の「農業」



小川名慎吾

大切にすべきものと、新たに挑むこと

旭区内には多くの自然が残されており、少し歩くと野菜畑を目にすることがありますが、田んぼはめったに見掛けません。そうした中、今も区内で稲作を続けている小川名慎吾さんにお話を伺いました。

私の自宅があるのは下川井町ですが、田んぼは矢指町にあります。以前は下川井町を含め、旭区内に幾つか田んぼがありました。でも、今は小学生が農業を学ぶための教育水田を除くと、農家が手掛けている田んぼは矢指町の数カ所しか残っていません。わが家の米の収穫量は年間1500キログラムほどです。市場や直売所には出荷せず、古くからの知り合いの方だけに販売

しています。以前は「キヌヒカリ」という品種でしたが、昨年から「はるみ」という品種に変えました。いずれも神奈川県奨励品種ですが、「はるみ」の評判も上々です。

わが家の田んぼの広さは約35アール（約1059坪）です。もっと広い田んぼであれば、トラクターなどの機械に全面的に頼ることができます。でも、それほど広くない田んぼは、機械を使いつつも細かい部分は人力で補わなければなりません。稲作は、春先に土を掘り起こす田起たおこしをし、そこに水や肥料を入れてかき混ぜる代掻きしろかという作業を行います。そうした作業でも、自らの手足で土をならしたりします。あくまでも私の実感ですが、うちの田んぼぐらいの広さの方が大規模なものより体力的には負担が大きいのではないかと思っています。

そのような大変さはあっても、稲作を続けることには大きな意義を感じて



小川名さんの田んぼの様子。奥には追分市民の森が広がっている

います。わが家の田んぼは、「矢指市民の森」と「追分市民の森」に挟まれた谷戸にあります。私は二つの市民の森の愛護会にも加わっていて、木々の伐採や花の栽培などの手伝いもしています。この二つの市民の森には、横浜市内でも希少な動植物が生息しています。私の田んぼは単に米をつくる場所というだけでなく、市民の森の大事な環境や景観の一部にもなっています。ですから、田んぼを続けることには大きな責任があると思っています。

私は稲作以外に、数カ所の畑で年間25品種ほどの野菜も育てています。春から夏にかけてはトマトやキュウリなどを、秋から冬にかけてはキャベツやダイコンなどを栽培しています。これらはJAの直売所（JA横浜「ハマッ子」直売所メルカートつおか店）に出荷しています。それと、よこはま動物園ズーラシアの動物たちのためのエサも栽培しています。1999年4月にわが家の近くにズーラシアが開園することになり、依頼されたことが始まりです。現在は、数種類のサルのためのマサキという樹木の枝と、ゾウのための青草を納めています。過去にはゾウのエサ用にサトウキビを育てていたこともあ

るのですが、今はイタリヤングラスやスーダングラス、アルファルファといった青草を栽培しています。ズーラシアで、自分が育てたエサをサルやゾウが口にする様子を目にすることもありませう。ですから、ズーラシアの動物たちの中でも、特にサルやゾウには格別の親しみを感じています。

また、焼酎の原料となるサツマイモの栽培にも取り組んでいます。もともと10年ほど前に同じ下川井町の農家の仲間が、地元産のサツマイモで焼酎づくりを始めました。その時点では私は関わっていませんでしたが、2年前から声が掛かって協力するようになりました。栽培しているサツマイモは「紅はるか」や「こがねせんがん小金千貫」といった品種です。これらを原料に、鹿児島県の酒造メーカーに依頼して焼酎を製造しています。焼酎は「いちりやま一里山」と、アルコール度数を調整していない原酒の「きちからみんなの氣力」という2種類で、いずれも無ろ過です。通常の焼酎はろ過をすることで雑味などを取り除くのですが、同時に原料のうま味までそいでしまうことがあります。でも、「一里山」などは無ろ過なのでサツマイモの風味を存分に楽しむことができ、ワインのボージョ

レ・ヌーボーのようにその年ごとに焼酎の味が変わります。おかげさまで好評ですが、より多くの人に旭区産のサツマイモのおいしさが詰まった焼酎を味わってほしいと思っています。

わが家は1500年代から続く農家で、代々受け継いできたものをしっかり守らなければという思いがあります。でも、ただ単に守るだけでなく、焼酎づくりのような新しいことにもいろいろチャレンジしたいと考えています。稲作にも野菜づくりにもさまざまな苦労がありますが、それを上回る面白さがあります。これからも積極的に楽しみながら、この土地で農業を続けていきたいと思っています。(談)



旭区産のサツマイモを使った焼酎「一里山」(2,376円／720ml)と「みんなの氣力」(4,212円／720ml)は、横浜高島屋7階「ヨコハマ・グッズ横濱001」などで販売中(写真右は小川名さんのサツマイモ畑の様子)

写真提供／ロコネット株式会社



億万両本舗 和作 二俣川店

TEL.045(520)3399

厳選素材を使った絶品あんこの最中もなか

白根にある本店は、地元を中心に40年以上親しまれている老舗。「あさひの逸品」に選ばれている最中「億万両」(写真下左・中央、1個200円)は、あんこに北海道十勝産の小豆を使用しています。この他、「白根 栗どら焼き」(280円)や「横浜までれえぬ」(200円)なども評判。「桔梗」(写真下右、1個270円)などの季節の上生菓子も常時5種類ほどそろっています。



「看板商品の『億万両』のあんこは隠し味のくるみが効いていて、おいしいですよ」と語る、スタッフの伊藤美和子さん



沿線オススメ店めぐり
ぶらり寄り道!
今号の🍴テーマ

あさひの逸品(※)

＼ オススメ! /

「神奈川県指定銘菓」にも選ばれている「億万両」のあんこは、風味も舌触りも良く、皮との相性も◎。贈答用の詰め合わせも豊富にそろっています。



●横浜市旭区二俣川1-3-2
相鉄ライフ二俣川2F
⑩10:00~20:00 (休不定休
(相鉄ライフ二俣川に準拠))

特典

本誌をご提示の上、1,000円以上お買い上げの方には、「億万両」を1個プレゼント(2019年9月末まで・本誌1冊につき1名さまのみ有効)。



「古くからの常連さん
も多いので、昔な
がらの洋食の味を大
切にしていきたいと
思っています」とオー
ナーの長沢喜和さん

＼ オススメ! /

北海道産ズワイガニを使った「マヤライス」は、バター風味が食欲をそそる逸品。ケーキなどのスイーツも10種類以上そろっています。



● 横浜市旭区鶴ヶ峰1-12-3
小林ビル1F ☎9:00～
23:00(ランチ11:00～14:30、
L.O 22:30) ⑧無休

カフェレストラン マヤ

TEL.045(374)0735

50年以上親しまれている看板メニュー

「あさひの逸品」に選ばれている「マヤライス」(写真右、S800円～)は、50年以上前の創業時からの看板メニュー。もう一つの「あさひくんプレート」(写真左、1,300円)は、オムライスにエビフライ、唐揚げが付いてボリューム満点です。その他、「生パスタ」(8種類、各1,000円)や「自家製ハンバーグ」(1,150円)などの豊富な洋食メニューがあり、ランチ(1,000円～)などのセットも充実。

※「あさひの逸品」は旭区内で販売・提供されている食べ物や飲み物の中で、推薦のあったものや特徴のあるものを認定している商品です。 <https://www.city.yokohama.lg.jp/asahi/shokai/ippin/>



特典

本誌をご提示の上ご飲食の方には、ミニデザートを1皿サービス(2019年9月末まで・本誌1冊につき1名さまのみ有効)。

＼ オススメ! ／

「あさひくんパン」はほのかなカボチャの風味が◎。店内にはカフェスペースがある他、施設内には未就学児が遊べるスペースもあります。



●横浜市旭区柏町59-2

◎11:00～16:00 ㊟土・日
曜・祝日



「地域の方々とながらぎかけになればと、いろいろなイベントも開催しています」と、スタッフの羽田航(わたる)さん



サポートセンター^{れん}連 こんがり工房

TEL.045(360)9778

国産小麦粉を使ったバラエティー豊かなパン

障がいのある方が活動している施設内にあるパン屋さん。「あさひの逸品」に選ばれている「あさひくんパン」(写真左)はポップシュガー(150円)とカスタード(200円)の2種類で、水曜限定販売。この他、同店のマスコットキャラクターをかたどった「こんがりくまさん」(写真中央、160円)など常時20種類以上のパンがあり、いずれも国産小麦を使用しています。

特典

本誌をご提示の上300円以上お買い上げの方には、オリジナル缶バッジを1個プレゼント(2019年9月末まで・本誌1冊につき1名さまのみ有効)。

●取材時のこぼれ話をウェブサイト「相鉄グループ」内の「相鉄瓦版」に掲載中!

ぶらり寄り道!

相鉄線沿線 お出掛けスポット めぐり



横浜市旭区民文化センター サンハート

1990年に横浜市内初の区民文化センターとして開館した「サンハート」。演劇や舞踊をはじめ幅広いイベントが行われているホール、音楽の公演に最適の音楽ホール、アートギャラリーなどを備え、旭区の芸術文化活動の拠点として親しまれています。9月6日(金)に行われる「ワンコインコンサート Vol.11」をはじめ、今後も多彩なイベントがめじろ押しです。



●横浜市旭区二俣川1-3
相鉄ライフ二俣川5F
TEL.045(364)3810
☎9:00～22:00(電話受け付け、チケット販売などは21:00まで) ㊟年未年始(12月29日～1月3日)、施設点検日(月1～2回)



「SOTETSUあしたをつくるPROJECT」

SOTETSU
MIRAIWA
PROJECT



ヨコハマネイチャーウィーク2019

3回目を迎える「ヨコハマネイチャーウィーク2019」が5月17日から19日の3日間、こども自然公園で開催されました。爽やかな天気の中、前回は上回るたくさんのお客さまにご来場いただき、盛況のうちに幕を閉じました。これからも相鉄グループは、都市の利便性と自然が共存する豊かな暮らしを皆さまにお届けしてまいります。

小松成美の

カ
ラ
フ
ル
通
信

vol.4

ラグビーワールドカップ に対する選手たちの思い



こまつなるみ ● 神奈川県横浜市生まれ。放送局勤務などを経た後、1989年、作家に転身。真摯な取材、磨き抜かれた文章には定評があり、数多くの人物

ルポルタージュ、スポーツノンフィクション、インタビュー、エッセイ、コラム、小説を執筆。主な作品に『アストリット・キルヒヘア ビートルズが愛した女』『中田語録』『中田英寿 鼓動』『中田英寿 誇り』『イチロー・オン・イチロー』『和を継ぐものたち』『勘三郎、荒ぶる』『YOSHIKI/佳樹』『なぜあの時あきらめなかったのか』『横綱白鵬 試練の山を越えてはるかなる頂へ』『全身女優 私たちの森光子』『仁左衛門恋し』『熱狂宣言』『五郎丸日記』『それってキセキ GReeeeN の物語』『虹色のチョコレート』などがある。

<https://narumi-komatsu.themedia.jp/>

今でも時折、その光景を思い起こして胸が熱くなる
ことがあります。2015年9月に開催されたラグ
ビーワールドカップイングランド大会で、優勝候補
だった南アフリカを日本代表が撃破した、あの一戦を。
エディー・ジョーンズヘッドコーチ率いるチームでフ
ルバックとして活躍した五郎丸歩さんの激闘の日々を
『五郎丸日記』という一冊に書き上げた私は、五郎丸
さんからワールドカップでの戦いと、南アフリカ戦の
戦勝の意味を、力強い言葉で繰り返し聞きました。
「ワールドカップでは勝てない。そういわれ続けた日
本代表が生まれ変わるために、最強の南アフリカに
負けるわけにはいかなかった。『世界で勝つ』、それが
チームの合言葉だった。それだけの準備をしてきた
自負がありました」
延長戦の場面、トライを決めて34-32で逆転し南
アフリカを下した直後、インタビューに答えた彼は「奇
跡ではなく必然です」といいます。その真意を、イ
ギリスから帰国した五郎丸選手は私にこう伝えまし
た。

「それはわれわれが、諦めることを否定したからです。勝利をつかむのだ」と一つになったから生まれた結果なのです。何より、2019年にはワールドカップの自国開催が待っている。日本ラグビーの強さ、面白さを見せつけ、次の代表にバトンを渡そう、という気持ちでした」

南アフリカ戦での勇姿を讃える海外のメディアが、日本代表のことを「ブレイブプロッサムズ（勇敢な桜の戦士たち）」と呼ぶようになります。

その誇りを胸に抱いた選手たちが、ついに自国でのラグビーワールドカップを闘います。

2019年9月20日～11月2日まで開催される大会の参加チーム数は20。札幌から大分まで、全国12会場プール戦（予選）から決勝戦まで48試合が行われ、優勝杯である「ウェブ・エリス・カップ」を指すのです。

テレビ視聴者数は延べ40億人といわれ、7週間、世界から日本に熱い視線が注がれます。

12会場の中でも、日産スタジアム（横浜国際総合

競技場）では、決勝戦と見まごうほど魅力的な対戦カードが連なっています。ニュージーランド対南アフリカ（9月21日）、アイルランド対スコットランド（9月22日）、イングランド対フランス（10月12日）、そして日本対スコットランド（10月13日）と、どのゲームも雌雄を決するものになるでしょう。

日本代表を離れた五郎丸選手がバトンを託した選手たちは、キャプテンを務めるリーチ・マイケル選手を要に、初の8強進出を目標にしています。

日本でのワールドカップ開催を誰よりも待ち望んだのは、2016年1月に53歳の若さで天に召された平尾誠二さんでした。ミスターラグビーと呼ばれた彼は、ワールドカップ日本招致に力を尽くした方でした。

「小松さん、いつか日本でワールドカップが開催する日を迎えることだって、夢じゃないですよ」

十数年前のインタビューの最後にそういった平尾さんの笑顔が忘れられません。澄んだ秋の空に平尾さんの面影を見ながら、日本代表に声援を送ります。

星川駅

相鉄沿線
名店
プロジェクト

沿線で見つけた
こだわりの名店

浜懐石 つねとら

季節の移ろいを、目と舌で感じる
心を尽くした日本伝統のおもてなし懐石

創業30年の「浜懐石 つね

本来の喜びなんです」と近

とら」は、遠方から訪れる
人も多い日本料理の名店。

藤さん。カウンター席に座
れば、料理にまつわる歴史

京都で10年の修業を積んだ
ご主人・近藤恒夫さんが、

やゆえんを説明してくれま
す。そのお話を聞くことも、

横浜産の野菜を中心につ
くった料理でもてなしてく

楽しみのひとつです。
そしてうれしいのが、来

れます。「浜懐石」とは、異
国情緒あふれる横浜の雰囲

店される方のシーンに合わせ
て対応してくれるところ。

気と、京都の純和風を融合
させた独創性に富んだ懐石

還暦のお祝いなら土鍋で炊
いた鯛飯を。お孫さん連れ

料理です。

のご家族なら和気あいあい

「食事は、ただお腹を満た
すものではありません。季

と箸を伸ばせるように、大
皿に盛りつけたおそばを。祝

節を感じ、風土を感じ、時
には小説を読むように料理

席に華を添える料理を提供
するのが、近藤さんのおも

から物語を感じる。それが

てなしの流儀なのです。

横浜市保土ヶ谷区新桜ヶ丘1-36-6 (相鉄線星川駅バス13分)

TEL.045 (351) 3557 ㊟11:30 ~ 14:30、17:30 ~ 22:00 (L.O.21:00)

㊟木曜 (第3水曜・木曜は連休) サイト: <http://www.tunetora.jp/>



相鉄沿線名店プロジェクト…「地産地消」の取り組みなど、地域に根差した「こだわり」を持った地元の名店の紹介や相鉄グループが新たな名店を誘致することで、相鉄線沿線の魅力を高める取り組みです。 https://hitosara.com/contents/sotetsu_meiten/



相鉄フレッツサインソウル明洞ミヨン洞をオープン

相鉄では、10月1日に相鉄フレッツサインブランドとしては海外初となる「相鉄フレッツサインソウル明洞」をオープンします。

韓国最大の繁華街・明洞地区中心部のメインストリートに面しており、レジジャーやビジネスなど幅広くご利用いただけます。

また、相鉄ホテルズクラブ会員で相鉄ホテルズ公式アプリをご利用のお客さまは、チェックイン当日に公式アプリから事前チェックインサービスをご利用いただき、スマホキーを選択することでフロントに

寄らずに直接客室に行くことが可能です*。

オープンを記念して、お得に宿泊いただける「開業記念プラン」のご予約を受け付けています。詳しくは、公式ウェブサイトをご覧ください。



建物外観イメージ

※公式サイトからの予約のみ。予約内容によっては事前チェックインができない場合があります。

【概要】

所在地 大韓民国ソウル特別市中区明洞キル48
電話番号 (+82)2(6377)0203
客室数 152室(全室禁煙)
アクセス ソウル地下鉄4号線「明洞駅」から徒歩5分
ソウル地下鉄2号線「乙支路入口駅」から徒歩5分

ご予約はウェブサイトで <https://fresa-inn.jp/>



相鉄ジョイナス食欲の秋を楽しむ屋上バーベキュー



相鉄ジョイナスでは、屋上でバーベキューが楽しめる「デジキューBBQガーデン」を11月24日(日)までオープンしています。バーベキューに必要な機材は全てそろっていますので、お

好きな食材や飲み物を持ち込むだけで気軽にバーベキューを満喫。全席ソファ席でお子さま連れの方もゆったりとくつろげます。人気のバーベキューで食欲の秋をお楽しみください。

【営業期間】 11月24日(日)まで

【営業時間】 11:00～22:00

1部11:00～14:00、2部15:00～18:00、3部19:00～22:00

【休業日】 ジョイナス休館日

【ご利用料金】 ソファ席

大人2,000円／小学生1,000円 ※小学生未満は無料

【特別割引】 相鉄ジョイナス、横浜高島屋、横浜ビブレの当日ご利用レシート3,000円分(税込み)以上をお持ちいただくと、アサヒビール飲み放題が200円オフになります(一部対象外店舗があります)。

【予約方法】 デジキュー予約サイト <https://digiq.jp/joinus/>

※ジョイナスポイント対象外です。

※ご利用は予約制ですが、当日空席がある場合はご利用可能です。その場合も各部のご利用時間となります。

※お支払いはご利用当日、現地払い(前払い)となります。クレジットカード使用不可。

創作カクテルコンペティション優勝
”TOKYO Bouquet”を販売中

横浜ベイシエラトン ホテル&タワーズのバーテン
ダー鮎川創^{はじめ}さんが、今年5月に開催された一般社
団法人日本ホテルバーメンス協会（HBA）東京支
部主催の「第12回創作カクテルコンペティション」に
おいて、総合優勝（東京都知事賞）と、技術や味
覚ともに最高位に与えられる作品賞を受賞し、同
大会初の快挙となるW受賞を達成しました。

これを祝して同ホテル内バー「ベイ・ウエスト」で
は、期間限定で優勝カクテル「TOKYO Bouquet」
を販売中です。「小笠原パッションフルーツリキュ
ール」と「ジャポネ桜」をベースに、八丈島の麦焼酎「島
の華」やフレッシュレモンジュースとパッションフルーツの
シロップを加えてつくられたカクテルで、ネーミング
は東京島しょの魅力を集めた「ブーケ」をイメージ
しています。見た目のかわいらしさとは裏腹に、しつ
かりとキレのある飲み口に仕上がりに、男女問わず
幅広い世代に好まれる一杯をぜひご賞味ください。



イメージ

優勝カクテル“TOKYO Bouquet”

- [期 間] 2020年3月31日（火）まで
[時 間] 月～土17:00～23:30
日・祝17:00～22:30
[料 金] 1,980円 ※サービス料込み、消費税別。

※バーのご利用には別途チャージをいただきます。
お一人様540円（宿泊者270円）税込み

●お問い合わせ

横浜ベイシエラトン ホテル&タワーズ バー「ベイ・ウエスト」
電話番号 TEL.045 (411) 1111 (大代表)
https://www.yokohamabay-sheraton.co.jp/restaurant_bar/baywest/

相鉄線沿線開発

相鉄不動産(株) 開発計画部
武井陽一

相鉄不動産(株) 用地開発部
岩本正義



このコーナーでは、相直に関するさまざまな取り組みを紹介します。
今回は、相鉄線の都心への直通運転を見据え、
沿線の開発による街づくりに取り組む、
相鉄不動産の武井陽一さんと岩本正義さんにお話を伺いました。

相直開業を控え、より幅広い世代に 「選ばれる沿線」を目指して

——相鉄線沿線で進めている住宅開発について教えてください。

武井 相鉄グループでは「選ばれる沿線」を目標に掲げ、街づくりを進めています。当社でも単身者や若年ファミリー、高齢者といった幅広い世代が安心して暮らせる街を目指し、これまでにいずみ野線沿線や二俣川南口での再開発に参画してまいりました。周辺は元よ沿線外からの住み替え

も促進するため、多様な住宅を開発、提供しています。また、住宅以外にも、認可保育所やデイサービス、地域交流施設などのさまざまな生活支援施設の整備も進めています。

岩本 11月30日の相鉄・JR直通線の開業を控え、今年から「グレイシアライフ横濱西谷」（47ページ写真）の分譲を開始しました。子育て世代の方々に向けた一戸建て住宅で、家族のコミュニ

ケーションが自然と育めるようリビングなどの間取りに工夫を凝らしています。また、防犯カメラやセンサー付き照明を設置するなど、安全や防犯対策にも配慮しています。おかげさまで沿線外からの入居希望の方も多く、相鉄線の都心への直通運転に対する期待の声もたくさん寄せられています。

武井 この秋には、結婚予定のカップルや子育て世代に向けた賃貸マンション「ノックス横浜弥生台」が完成します。

——相鉄線沿線の魅力について教えてください。
岩本 例えば西谷であれ



武井陽一さん



岩本正義さん

ば、横浜や新横浜、こども自然公園、よこはま動物園ズーラシアなどが5キロメートル圏内です。西谷に限らず相鉄線沿線全般にいえることですが、もともと都市の利便性と自然環境の双方が身近ですので、特に子育てには

最適の立地といえます。それに加え、今秋からは都心直通運転が始まりますので都内通勤の利便性が向上します。私自身も相鉄線沿線に暮らしているので、ここで暮らすことの快適さを日々実感しています。

武井 住宅開発の面から考えても、都心直通運転が大きな契機となることは間違いありません。ただし、「選ばれる沿線」になるためには、さらなる努力が必要だと思っています。これまでも私たちは単に建物を提供するだけでなく、街の活性化を目指したさまざまな取り組みや情報発信を行ってきました。今後も、長くお住まいの方も新しく暮らし始める方も快適な生活を送ることができるよう、多くの方々の声に耳を傾けながら、相鉄線沿線の魅力を高めていきたいと考えています。

相鉄線沿線
少年少女
熱血スポーツ

沿線でスポーツに取り組む
少年少女を紹介します



YNUSジュニア
陸上クラブ



お話を伺ったのは



代表
やまがたゆうすけ
山縣又輔さん

当

クラブは、NPO法人YNUSポーツアカデミーを母体に、2008年から活動しています。年度ごとに新入部員を募集しており、現在は約70人の小学生が所属しています。走る、投げる、跳ぶという基本的な練習を重ねれば、着実に記録が向上します。ただ、記録も大事ですが、何より体を動かす楽しさを知り、このクラブを卒業した後も末永くスポーツに親しんでほしいと思っています。

DATA

YNUSジュニア陸上クラブ
<http://ynustf.blog51.fc2.com/>

石原章太郎さん



小林穂誉さん



足が速くなりたくて、1年前から通っています。最初のころの50mのタイムは11秒58で、なかなか記録が縮まらない時期もあったけど、今は1年前より1秒近く速く走れるようになりました。将来は、足の速いプロ野球選手になりたいです。

今年4月に入会したばかりだけど、すぐに友達できて、練習に来るのが楽しくなりました。幅跳びはジャンプするタイミングが難しいけど、うまく飛べると気持ち良いし、前より少しでも記録が伸びるとうれしいです。

星晴南子さん



濱田雅哉さん



それぞれの種目に面白さを感じますが、特に短距離が好きです。コーチに教わったフォームを意識しながら走ると記録も伸びるし、上達しているなど実感します。中学校、高校と陸上を続けて、大会で活躍できる選手になりたいです。

走るときの腕の振り方や足の動かし方で、タイムが変わってくるところが面白いです。自分の弱点を克服するために、クラブ以外に自宅でも練習をしています。このまま陸上を続けて、100mの日本記録を塗り替えたいです。

vol.4 秋に鳴く虫～クツワムシ～



クツワムシ…キリギリス科の昆虫。日本在来種の中で体の側面積が最大の種類です。横から見ると、はねの幅が広いのが特徴。8月ごろからガチャガチャとした大きな鳴き声を聞くことができます。なお、神奈川県レッドデータブックでは、要注意種に区分されています。

Information

毎月第3日曜に、木の実や枝などを使った「ネイチャークラフト」を開催しています(雨天中止)。詳しくは、こども自然公園どろんこクラブのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.doronco-club.com>

TEL.045 (352) 2820

[火・金・土・日・祝日9:00～17:00]

こども自然公園には、雑木林の周縁に広がる草地が多く、このような場所を好む鳴く虫も数多く生息しています。

童謡「虫のこえ」の歌詞には、マツムシ、スズムシ、コオロギ、ウマオイ、クツワムシの5種類が登場しますが、スズムシを除く4種類の虫の声を園内では観察することができます。

特に、つる植物のクズなどが絡んだような環境が好きなクツワムシは、都市化に伴いクズの覆い茂った空き地がなくなったり、つる植物が刈り取られた公園では絶滅してしまいました。

一方、こども自然公園では、このような環境が残されているため、市内でも数を減らしているクツワムシを観察することができる貴重な場所といえます。

こども自然公園

(横浜市環境創造局
北部公園緑地事務所)

横浜市旭区大池町65-1 TEL.045 (353) 1166

二俣川駅から徒歩15分、南万騎が原駅から徒歩7分

ズーラシアの動物たち 〈マレーバク〉

東南アジアの熱帯雨林に生息し、白黒のツートンカラーの体色が特徴のマレーバク。近年森林開発などによる生息地の減少から絶滅が危惧されていて、日本でペアになっている園では積極的な繁殖に取り組んでいます。

生まれた時は黒地に白い斑点が入っていますが、約3カ月でツートンカラーの体色に変化します。体が小さい時は、森の中の木漏れ日に擬態して天敵から身を守っていると考えられています。

今年6月にズーラシアに来たメスのロコは、ちょっと臆病な性格で最初は緊張していましたが、数日で新しい環境に慣れたようで、新たなペアで繁殖を目指すオスのカイクと柵越しに匂いを嗅ぎ合ったり、お互いに鳴き合ったりする様子も見られました。

今後はロコの様子を見ながら展示場に出る練習をし、カイクとの同居を進めます。ロコとカイクの2頭を温かく見守ってください。



餌を食べてホッと一息のロコ



柵越しにお見合い中のカイクとロコ

イベント情報

ズーラシアフェス!

動物に親しみをもってもらうため、動物雑貨の売店とパネル展示を行います。

期間 9月21日(土)～23日(月・祝)



よこはま動物園

ズーラシア

横浜市旭区上白根町1175-1 TEL.045 (959) 1000

開園時間 / 9:30 ~ 16:30 (入園は16:00まで)

休園日 / 火曜 (祝日の場合は開園、翌日休園)

※9月11日～10月22日までは無休

▶ 鶴ヶ峰駅または三ツ境駅からバスで約15分

最新の情報は、ズーラシアのウェブサイトをご覧ください。
<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>



秋を感じに出掛けよう!

**9/6(金) 二俣川駅・サンハート
名曲を気軽に楽しめるコンサート**

「ワンコインコンサート Vol.11」を開催。昨年行われた第7回サンハート・アンサンブル・オーディションにて優秀賞を受賞した中野志保(マリンバ)と小嶋義貴(マリンバ)が、「くるみ割り人形」や「ムーン・リバー」など名曲の数々を演奏します。13:30開場、14:00開演。全席自由500円。未就学児の入場不可。

📍 横浜市旭区民文化センター サンハート
TEL.045 (364) 3810 [9:00 ~ 21:00、不定休]
<http://www.sunheart.info/>


**9/13(金) 相模大塚駅・大和市郷土民家園
古民家で邦楽とともに堪能する月見**

「古民家でお月見 ~秋の夜長の公演会~」を開催。旧暦の八月十五夜に合わせて開園時間を延長し、古民家で「ひとりぶらす会」による箏などの邦楽器の演奏を行う他、竹とんぼなどの手づくり品を販売します。演奏会は17:30~18:45(閉園時間は19:00)。参加費無料、申し込み不要。雨天中止。

📍 大和市郷土民家園
TEL.046(260)5790 [9:00~16:30、月曜休(祝日の場合は翌平日休)]
<http://www.yamato-zaidan.or.jp/minkaen>


**9/21・28(土・土) 鶴ヶ峰駅・^{よろい}鎧の渡し緑道、天王町駅・天王町公園
地元の商店街で楽しむプロレス**

「プロレス見るなら大日本! 買い物するなら商店街!」を合い言葉に毎年開催している「商店街プロレス」。現在、2019シリーズが開催中で、9月21日(土) 13:00~16:30に鶴ヶ峰商店街で、28日(土) 16:00~20:00に天王町商店街で試合が行われます。いずれも観戦無料。小雨決行(荒天の場合は中止)。

📍 鶴ヶ峰商店街協同組合 TEL.045 (955) 3019 [平日10:30 ~ 15:00]
📍 天王町商店街協同組合 TEL.045 (335) 6659 [月・水・金曜10:00 ~ 14:00]





地元野菜の楽しみ方を幅広く提案している「ヨコハマやさいレシピ」。このコーナーでは、第3回「ヨコハマやさいレシピコンテスト」の受賞レシピをご紹介します。

詳細は
ウェブサイトを
ご覧ください。



〈第3回優秀賞〉 栗の渋皮煮ビスコッティ

使用した相鉄いずみ野線沿線の野菜

栗

〔 材料 〕

A 薄力粉…………… 250g
ベーキングパウダー
…………… 4g
塩 ……ひとつまみ

B 全卵 ……2個 (100g)
グラニュー糖 ……150g
栗渋皮煮 ……70g
カシス ……30g
(合わせて100g 量はお好みで変えてもOK)

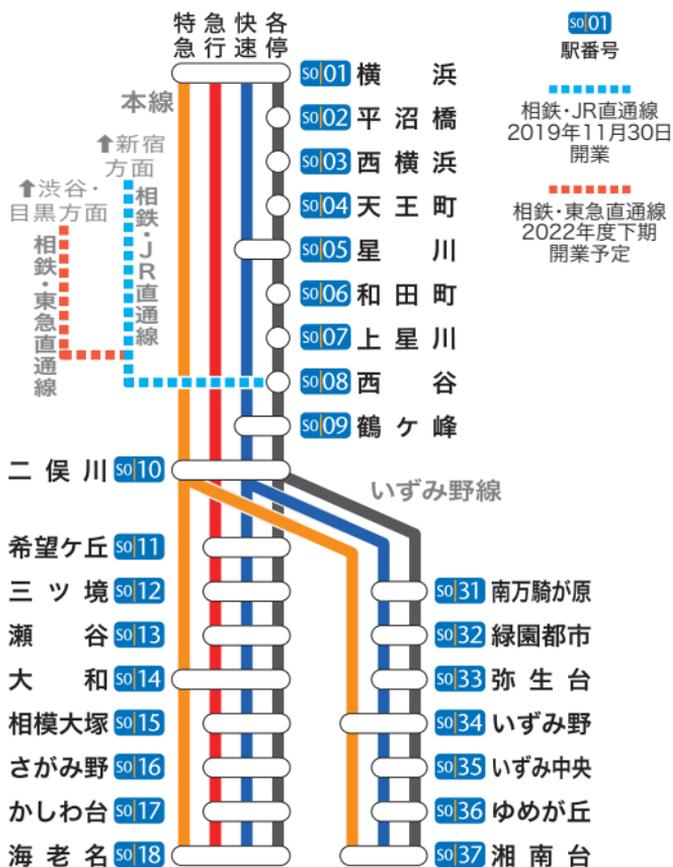
〔 作り方 〕

- ① Aは塩以外を振るっておく。Bをボールに入れ白くなるまで混ぜる。
- ② BにA、塩を加えさっくりと混ぜる。
- ③ 刻んだ栗渋皮煮、カシスを加える。
- ④ 楕円型に成形して170℃のオーブンで20分くらい焼く。
- ⑤ 色付いてきたら取り出し、熱いうちに1センチの厚さに切る。この時、オーブンを160℃に下げしておく。
- ⑥ ⑤を平らに並べ、15～20分くらい焼いて器に盛ったら完成!

ポイント

渋皮煮の香ばしさとカシスの酸味が、コーヒーやワインにも合います。

相鉄線路線図



次号 (10月1日発行予定) は
「瀬谷区」について特集します

相鉄瓦版は、ウェブサイト「相鉄グループ」
でもご覧いただけます。

<https://www.sotetsu.co.jp>

2019年9月1日

発行：相鉄ホールディングス(株)
横浜市西区北幸二丁目9番14号

相鉄お客様センター TEL.045 (319) 2111
[平日9:00～19:00 土日9:00～17:00]